

講習の名称	【選択】小・中学校理科の課題と学習指導の在り方—新学習指導要領の考えを踏まえて—
講習の概要	理科教育の研究動向をもとに、小学校理科（一部中学校理科も含む）の課題を指摘する。そして、児童生徒の実態等に基づき、新学習指導要領で求められている資質・能力（主体的・対話的で深い学び）、特に科学的探究能力の育成を目指した小学校理科（一部中学校理科も含む）の学習指導の在り方について考察する。小学校理科における事例を中心とするため主な受講生は小学校教諭とするが、小中連携のことも踏まえ、中学校（理科）教諭の受講も可とする。
担当講師	今村 哲史（大学院教育実践研究科担当教授）
講習開設日	平成 30 年 7 月 27 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県山形市
会場・教室	地域教育文化学部 2 号館 3 階 自然科学多目的第 2 実験室
対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭、中学校教諭（理科）
受講予定人数	29 人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト： 平成 29 年改訂小学校学習指導要領解説（理科）</li> <li>・参考資料： 小学校（または中学校）で使用している理科の教科書（1 冊／出版社はどこでも可）</li> </ul>
評価基準	<p>評価にあたっては、小・中学校理科授業の実践的な課題について指摘でき、解決のための指導方策について考察することが必須である。</p> <p>合格基準は以下の通りである。</p> <p>○合格基準：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての時間、出席していること</li> <li>・レポート（70 点）及び小テスト（30 点）の得点の合計（100 点満点）が 60 点以上であること</li> </ul>
評価の観点	<p>○評価の観点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の小学校（または中学校）理科の課題について、教授（カリキュラム編成）および学習の視点から指摘することができたか。</li> <li>・理科の課題と新しい学習指導要領の考えを踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」を実践するための理科授業の指導方策について提案することができたか。</li> </ul>
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習内容の通り、理科に関する基本的理論が中心となる。また、小学校理科の事例を取り上げて解説する。</li> <li>・多少汚れても良い服装が望ましい。また、かかとの高いヒールは不可。</li> </ul>